

第 4 回御嶽山噴火に伴う木曽川上流域水質保全対策検討会の結果

(確認事項)

1. 木曽川水質調査結果について

- ・御嶽山噴火後から実施している水質調査によれば、木曽川本川では水質上の大きな問題は発生していない。

2. 御岳発電所濁沢川にごりさわがわえん堤取水再開に伴う調査結果について

- ・2月13日に御岳発電所濁沢川えん堤からの取水が再開がされた。取水再開時の水質測定結果から、御岳発電所放水口では濁度最大5、水素イオン濃度(pH)は6.9程度で再開による大きな影響はなかった。落合取水口においても大きな変動は見られなかった。
- ・今後とも水質監視をしながら濁沢川えん堤の取水を継続する。

3. 牧尾ダムの水質調査結果及び水質監視について

- ・牧尾ダム利水放流設備において、2月16日～19日に15m³/sから約30m³/sまでの放流を実施した結果、以下の状況が確認できた。
 - ① 六段橋(放水口)において一時的に濁度が上昇したが、一定量の継続放流中に次第に減少傾向を示した。
 - ② 落合取水口の濁度は、若干の変動が確認されたが、木曽川本川の環境基準値(SS:25mg/l)を下回っていた。
 - ③ 水素イオン濃度(pH)は若干の低下傾向が見られるものの、六段橋(放流口)で6程度、落合取水口で7程度で推移した。

4. 三尾発電所みおはつでんしょの運転再開に向けた対応について

- ・三尾発電所は更新工事(平成26年10月4日～)のため、御嶽山噴火後使用されていなかったが、4月下旬に更新工事が完了する。
- ・三尾発電所の運転再開による濁水抑制対策として、取水塔(三尾発電所取水口)に角落し工を設置した。(2月26日に完了)
- ・三尾発電所運転再開のため発電機性能確認試験に伴う放流試験(水質調査等)については以下のとおり、確認された。

- ① 発電機性能確認試験の期間は平成 27 年 4 月 25 日（土）から 5 月 16 日（土）で予定している。
- ② 発電機性能確認試験の期間中、4 日間（4 月 25 日、5 月 5 日、5 月 7 日、5 月 8 日）は放流試験として水質調査を実施する。なお、上記 4 日間以外の発電機性能確認試験中は、三尾発電所放水口において濁度、pH を監視する。
- ③ 放流試験において、下流河川への影響が少ないことが確認できれば、発電所は、通常運転に移行する。

5. その他

（1）牧尾ダム水質保全対策について（土砂除去工事の完了報告）

- ・ 牧尾ダム貯水池水質保全を目的に水資源機構が進めていた 1 号貯砂ダム上流に堆積した火山噴出物を含む土砂撤去工事（約 10,000m³）が 3 月 17 日に完了したと報告された。（※3 月 3 日着手）

以上